

再評価【番号12】河川整備課

海岸侵食対策事業  
今津坂野海岸

# 1. 海岸の概要

小松島市和田島町～阿南市那賀川町

海岸線延長 L=6,637m  
(坂野地区3,320m、今津地区3,317m)



## 2. 事業概要

小松島市和田島町～阿南市那賀川町

①坂野5・6号突堤整備中



海岸保全区域

侵食区域  
74.6ha

浸水区域  
868.8ha

全体事業費

123.32億円 (変更なし)

完成時期

令和19年度 (変更なし)

今津地区 L=3,317m

1工区 L=4,817m

全体計画 (昭和36年～)

堤防工	6,464m	完成
離岸堤	325m	完成
消波堤	759m	完成
小規模突堤	1,876m	完成
大規模突堤	9/ 21基	整備中
緩傾斜護岸	1,510/ 2,400m	整備中
養浜	375,000m <sup>3</sup>	整備中

《進捗率》

事業費：87%・用地：-

令和4年度以前



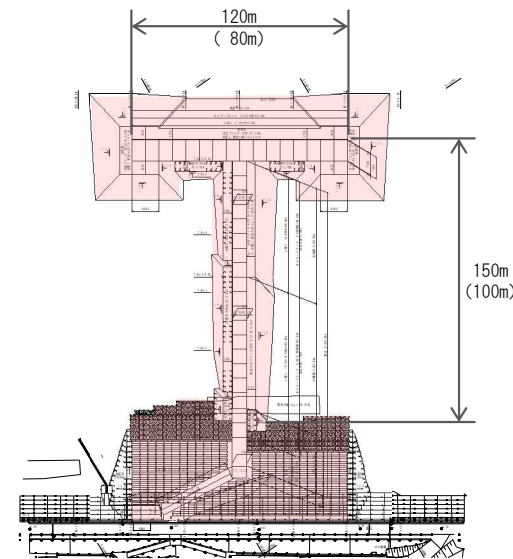
令和5年度



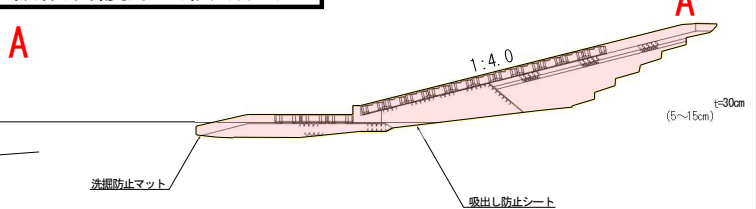
令和6年度以降



大規模突堤 (平面図)



緩傾斜護岸 (横断面図)

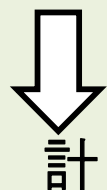


# 3. 整備効果

## 貨幣換算可能な整備効果

### 【海岸事業の費用便益分析指針によるB/C】

- ・ 土地の消失
- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 公益事業等被害 など



被害軽減期待額

= 便益 B

9082.8億円

(現在価値化後)

費用 C = 553.7億円

(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 16.4$$

### 【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】



交通途絶による被害

水害1回当たり  
500万円の被害を軽減

経済被害の域内・外への波及被害

水害1回当たり  
21億円の被害を軽減

水害廃棄物の処分

水害1回当たり  
4.22億円の被害を軽減

水害1回当たり被害額 = 25.3億円

# 4. 多様な効果

## 貨幣価値に表れない整備効果

### 人的被害の軽減

浸水区域内人口	6,951人
浸水区域内の災害時要援護者数	2,129人
最大孤立者数	5,894人

### 医療・社会福祉施設等の機能低下による被害の軽減

機能低下する医療施設数	2 医院
機能低下する社会福祉施設数	13 施設

### 防災拠点施設の機能低下による被害の軽減

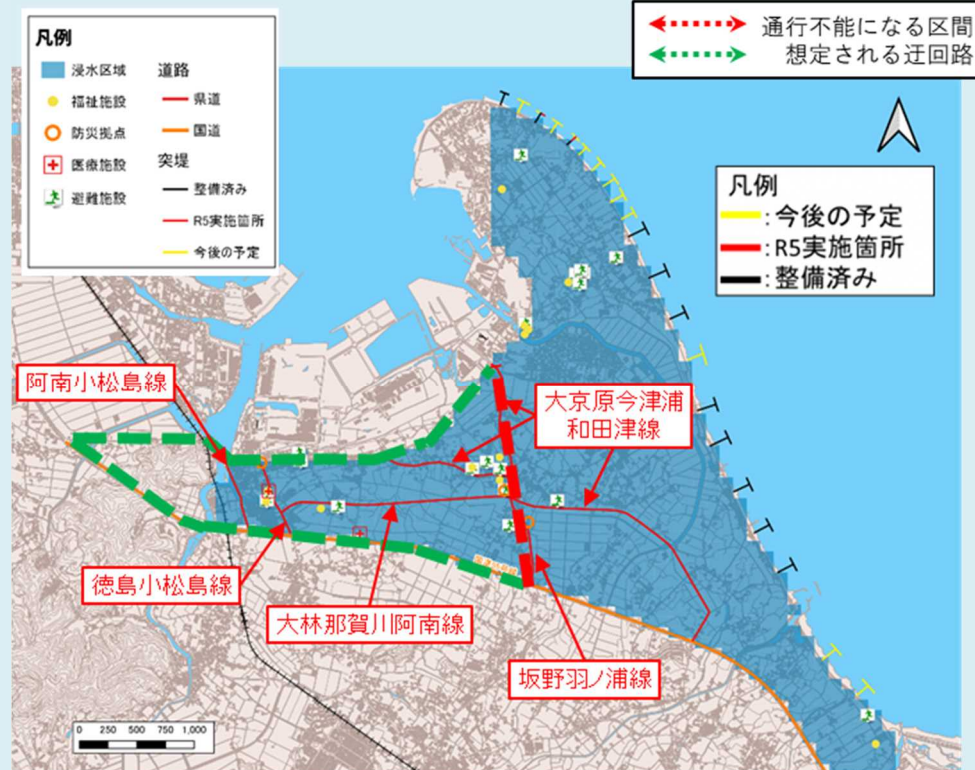
機能低下する主要な防災拠点施設  
小松島市役所坂野出張所、坂野町駐在所  
→災害発生時の機能維持

### ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	5,074人
ガス停止による影響人口	4,040人
上水道停止による影響人口	570人
通信(固定)の停止による影響人口	5,167人

→住民生活環境の維持

## 【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】



使用データ

人口：令和2年度版国勢調査、  
施設：徳島県社会福祉施設等名簿(令和3年度)

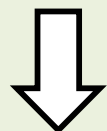


## 5. 事業評価結果

### 貨幣換算可能な整備効果

【海岸事業の費用便益分析指針によるB/C】

- ・ 土地の消失
- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 公益事業等被害 など



被害軽減期待額

= 便益 B

計

9082.8億円

(現在価値化後)

費用 C = 553.7億円

(現在価値化後)

$B / C = 16.4$

### 貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

#### 人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

#### 医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する医療施設数
- ② 機能低下する社会福祉施設数

#### 防災拠点施設の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する防災拠点施設数

#### ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 上下水道停止による影響人口
- ④ 通信の停止による影響人口

水害 1 回当たり被害額 = 25.3億円  
(交通途絶被害、経済の波及被害、廃棄物の処分費等)

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続